

各派代表者会議会議録

日時：平成24年12月6日(木)

15時20分～16時07分

場所：議会会議室

出席者

石川英之議長、中村宗雄副議長
至誠クラブ 新美保博議員、志民ネット 小出義一議員、
真政会 榊原伸行議員、公明党 山本半治議員、
日本共産党 山内悟議員、創政会 伊東英議員
事務局長 原田桂、議事課長 竹内進、主事 小林由華

協議題

1 政務活動費について

○石川英之議長

前回、項目、金額の部分を会派に持ち帰りいただきましたので、それに関してご意見をいただきたいと思います。

○志民ネット代表小出義一議員

私的流用なことが問われる項目、例えば茶、菓子代等や、議員として当然市民に対して広報活動していかなければいけない中で使うものでも、場合によっては後援会活動に見られてしまうものもあるので、グレーなところはできるだけ避けて、議員の資質を向上させるために使う研修費や視察費や書籍の購入費に限定していくことが好ましい。金額は、同様の規模の市を参考にすると20万円前後。今後、積算根拠をつけて金額を確定していければいいと思います。

○公明党代表山本半治議員

視察を兼ねた調査研究費は、交通費を最低でも往復3万円程度。市に準ずるならば宿泊費は1万3千円。最低2回行きたいので、8万6千円。滋賀県等へ行く研修を1泊で行くと、交通費、参加費、宿泊費を併せて6万3千円。資料の購入費は、現在月5千円使用しているため年間6万円。書籍の購入を年間1万円ほしいので、合計すると21万9千円になりました。

○日本共産党代表山内悟議員

内容的にも金額的にも全く検討していません。後援会でこの話をしたら、とんでもないといわれました。今まで半田市で様々な削減をやってきており、議員も身を切る改革として議員定数削減をしてきた一方で、政務活動費を突然決めることは、どうやってもタイミングが悪い。景気がいい時は、政務活動費の条例の制定は考えられるが、今はその時ではないと思っております。皆さんの後援会の方々はなにか言わないでしょうか。2年前の定数削減はなんだったのか。

○至誠クラブ代表新美保博議員

検討していません。昨日の名古屋テレビの報道ステーションでの内容を紹介

しますと、国家公務員が７％給与を下げ、地方公務員の給与も下げることが選挙の争点となっている。ここで政務活動費を請求できるかということ、違うと思う。今まで６年間見直しをしなかったことは反省しなければならないが、ここを契機に今からみんなからの理解が得られる動きを、時間をかけてやらないといけない。本当は復活させたいが、ここはもう少し市民に納得していただかないといけない。

○真政会代表榊原伸行議員

調査研究費と研修費を合体させて調査研究研修費として、１３万５千円。いくらかかるか積算していないのですが、議会報告会の結果等を掲載するため、議会だよりを増刷する広報費。議会報告会の資料作成費としての資料作成費や資料購入費を含め、合計で約２０万円程度必要ではないかと考えます。

○創政会代表伊東英議員

真政会と同じです。用途を限定して、調査研究費、研修費を併せて、視察を２回実施する費用や、市議会だよりを増刷する費用等で約２０万円前後かと考えます。

○石川英之議長

しばらく休憩します。

休憩 １５時 ３１分

再開 １６時 ０６分

○石川英之議長

会議を再開します。各会派のご意見を伺いましたが、今年度できる限り進めていくということによろしいでしょうか。

（異議なし）

目的、項目、金額は概ね休憩中にお話をさせていただいた通りで、そういった方向で進めさせていただきますので、よろしくお願いします。

２ その他

○石川英之議長

その他なにかございましたら、お願いします。

（なし）

ないようですので、これをもちまして各派代表者会議を終了します。

終了 １６時 ０７分